

公示番号：170234

国名：アルバニア共和国

担当部署：地球環境部 森林・自然環境グループ 自然環境第二チーム

案件名：ディヴィアカ・カラヴァスタ国立公園におけるエコシステムを基盤とした国立公園管理に係る能力開発プロジェクト詳細計画策定調査(評価分析)

1. 担当業務、格付等

- (1) 担当業務：評価分析
- (2) 格付：3号～4号
- (3) 業務の種類：調査団参団

2. 契約予定期間等

- (1) 全体期間：2017年6月中旬から2017年7月下旬まで
- (2) 業務M/M：国内 0.5M/M、現地 0.7M/M、合計 1.2M/M
- (3) 業務日数：準備期間 5日 現地業務期間 21日 整理期間 5日

3. 簡易プロポーザル等提出部数、期限、方法

- (1) 簡易プロポーザル提出部数：1部
- (2) 見積書提出部数：1部
- (3) 提出期限：5月17日(12時まで)
- (4) 提出方法：専用アドレス (e-propo@jica.go.jp)への電子データの提出又は郵送(〒102-8012 東京都千代田区二番町5番地25二番町センタービル)(いずれも提出期限時刻必着)
提出方法等詳細については JICA ホームページ (ホーム>JICA について>調達情報>公告・公示情報/結果>コンサルタント等契約案件公示(業務実施契約(単独型))>業務実施契約(単独型)公示にかかる応募手続き)
(<https://www2.jica.go.jp/ja/announce/pdf/procedure.pdf>) をご覧ください。なお、JICA 本部 1 階調達部受付での受領は廃止しておりますので、ご持参いただいても受領致しかねます。ご留意ください。
- (5) 評価結果の通知：提出されたプロポーザルは JICA で評価・選考の上、各プロポーザル提出者の契約交渉順位を決定し、2017年5月31日(水)までに個別に通知します。

4. 簡易プロポーザル評価項目及び配点

- (1) 業務の実施方針等：
 - ①業務実施の基本方針 8点
 - ②業務実施上のバックアップ体制等 2点
- (2) 業務従事予定者の経験能力等：
 - ①類似業務の経験 45点
 - ②対象国又は同類似地域での業務経験 9点
 - ③語学力 18点
 - ④その他学位、資格等 18点

(計100点)

類似業務	生物多様性保全分野における各種評価調査
対象国／類似地域	アルバニア／全途上国
語学の種類	英語

5. 条件等

- (1) 参加資格のない社等：
特になし
- (2) 必要予防接種：特になし

6. 業務の背景

アルバニア共和国（以下、「アルバニア」）は、欧州のバルカン半島の南西部に位置し、国土面積は四国の約 1.5 倍の小さな国である。国土の約 3 分の 2 は山岳地帯あるいは丘陵地帯であり、残りは沿岸部の肥沃な平野と地中海（イオニア海）岸で構成されている。

ディヴィアカ・カラヴァスタ国立公園（Divjaka-Karavasta National Park、以下「DKNP」という）は、首都ティラナから約 100 キロの地中海（イオニア海）岸に位置する国立公園である。河口、砂丘、干潟、森林などを含む多様な生態学的景観を有し、地中海松やハイイロペリカンなど希少性の高い種を含む多様な生物種の生息地でもある。公園内のラグーンは 1994 年にラムサール条約登録地に指定された。同公園は、首都から車で 1 時間半と近く、国内及び海外からの訪問者が非常に多い観光名所でもあることに加え、地域住民が農業、家畜飼育、水産、伝統手工芸、観光サービスを行う居住区ともなっている。このため、これらの観光や農業等の活動が公園内の生態系に与える影響が顕在化する前に、適切な対策を講じることが必要であると認識された。

これを受け、JICA は、アルバニア政府側の要請に基づき、2012 年 5 月から 2014 年 9 月の間、アルバニア環境・森林・水管理省（当時。現環境省保護区庁）を先方実施機関として、DKNP の保全と持続可能な利用のための体制を確立することを目指した「ディヴィアカ・カラヴァスタ国立公園参加型管理による保全と持続的利用プロジェクト」を実施した。

このプロジェクトを通じ、地方自治体を含めたステークホルダーの参加による公園管理委員会の設置に加え、環境教育やリソースマップの作成などのパイロット活動を行った。プロジェクト実施による公園管理の推進や生物多様性の保全により、環境省保護区庁から DKNP は国内でも最も優れた国立公園として認識されている。また、これらの活動を踏まえて、プロジェクト期間終了直前の 2014 年 9 月には、DKNP 管理計画が起草され、その後、管理計画は 2015 年 12 月にアルバニア政府によって正式に承認された。

さらに、プロジェクト活動を通じた政府への働きかけにより、森林局内にあった国立公園管理部署が改組され、2015 年 2 月に環境省の一部局として保護区庁（National Agency of Protected Areas : NAPA）が設立された。プロジェクト終了後も先方政府及び NGO の活動により、公園レンジャーの追加雇用や禁猟区の設定、植林、ハイイロペリカン繁殖サイトの設置などの活動も実施されている。

一方、保護区庁及び DKNP の管理を直接担当する保護区庁 Fier 地域管理事務所の財政・技術的な実施能力は、管理計画を完全に実施するにはまだ不十分であることが関係者間で認識されている。また、市町村合併で周辺自治体の構造が変わったことにより、DKNP 管理委員会が想定した通りに機能していないほか、ラムサールサイトとなっているカラヴァスタ・ラグーンと海洋との間の海峡が堆砂によって遮断されつつあるなど、新たな課題が発生している。

このような状況のもと、アルバニア政府は、前プロジェクトの成果を踏まえ、承認された管理計画の実施を行いつつ、「生態系を基盤とする管理 (Eco-system based management)^{注)}」を通じた、持続的な公園管理モデルの確立を目指す技術協力プロジェクトを我が国に対して要請した。

注) 生態系を基盤とする管理 (Eco-system based management : EBM) : 単一の問題、種、または生態系サービスを孤立して考えるのではなく、人間を含む生態系内の完全な一連の相互作用を認識する環境管理のアプローチのこと

要請された協力の基本計画は以下の通り。

・上位目標 :

アルバニア国内において、保護区の保全と持続可能な利用のための生態系を基盤とする管理が強化される。

・プロジェクト目標 :

保護区の保全と持続可能な利用のための生態系を基盤とする管理モデル (Eco-system based management model) が DKNP において確立される。

・成果

- ①公園管理計画及び行動計画の実施を通じて、DKNP スタッフと地域社会の国立公園管理に関する能力が強化される。
- ②自然再生と保全に関する「生態系を基盤とする管理モデル (Eco-system based management model)」が開発される。
- ③観光者などの訪問者を対象とする、保護区の保全と持続可能な利用を促すための施設が設置される。
- ④持続可能な保護区のための「生態系を基盤とする管理」に関する、同国内関係者向けの研修が DKNP を拠点として開発される。

7. 業務の内容

本業務従事者は、技術協力プロジェクトの仕組み及び手続きを十分に把握の上、他の調査団員と協議・調整しつつ、5項目評価 (妥当性、有効性、効率性、インパクト、持続性) に基づく事前評価に必要なデータ、担当分野に係る協力計画策定のために必要な情報を収集、整理し分析するとともに、他の団員と協力して、本プロジェクトの協力計画策定のために必要な調査を行う。JICA 事業評価における評価基準・手続きについては監督職員より情報提供を行う。また、本業務従事者は、担当分野に係る報告書を作成する。

具体的担当事項は次のとおりとする。

(1) 国内準備期間 (2017 年 6 月中旬~2017 年 6 月下旬)

- ①要請書、既存の文献、関連報告書 (後述) 等をレビューし、要請背景・内容、関連

案件情報を把握する。

- ②IUCN（世界自然保護連合）等の他ドナーが同国内で実施する類似プロジェクトに関する資料・情報の収集、分析を行う。
- ③担当分野にかかる対処方針(案)を作成し、JICAの確認を得る。
- ④上記③に基づき、現地調査で収集すべき情報を検討する。
- ⑤C/P機関（環境省保護区庁関係者、DKNPレンジャー等）及び関係機関（「Noe Conservation」を始めとする関連NGO、周辺自治体等）、他ドナー等に対する質問票(案)（英文）を作成する。質問票はJICA本部で確定したのち、JICAバルカン事務所よりメールで関係機関に配布する予定である。
- ⑥PDM(案)・PO(案)（英文・和文）の作成に協力する。
- ⑦調査団打合せ、対処方針会議等に参加する。

（２）現地派遣期間（2017年6月下旬～7月中旬）

- ①JICAバルカン事務所との打合せに参加する。
- ②C/P機関をはじめとするアルバニア関係機関との協議及び現地調査に参加し、詳細計画策定調査の実施方法について説明する。
- ③事前に先方政府へ配布した質問票の回答を回収し、結果の分析を行う他、必要に応じて対象地域の住民等からも聞き取り調査を行い、事前評価及びプロジェクトのデザインに必要な情報収集・分析を行う。
- ④他団員とも協力し、プロジェクトの概要（協力の範囲、活動内容、投入規模、実施工程、現地再委託の有無等）作成に必要な以下の情報・資料を収集・分析する。その他、必要と考えられる項目があればプロポーザルにて提案すること。
 - ア）アルバニアの国家開発計画・政策における本プロジェクトの位置付け
 - イ）関係省庁の既存の政策、制度、計画・戦略等と本プロジェクトとの関連
 - ウ）DKNP及び周辺地域の自然、社会、経済的概況、実施体制等
 - エ）DKNP生態系に対する脅威（開発の計画を含む）
 - オ）「生態系を基盤とする管理(EBM)」についての一般的な考え方の整理と本案件における適応可能性・範囲の評価・分析
 - カ）ラグーンの堆砂対策など、アルバニア側から要請されている活動に関する実施体制、予算等
 - キ）本プロジェクトにより実施するモデルの国内他地域への普及展開等に関する体制や方針
 - ク）IUCNやUNDPなどの他ドナーの同国内での活動内容や連携可能性
- ⑤上記調査結果も踏まえ、上記（１）⑥で作成したPDM(案)（和文・英文）、PO(案)（和文・英文）の改訂作業に協力する。
- ⑥関係者との協議で合意された内容につき、R/D(案)（英文）及びM/M(案)（英文）の取りまとめに協力する。
- ⑦担当分野に係る現地調査結果をJICAバルカン事務所等に報告する。

（３）帰国後整理期間（2017年7月中旬～7月下旬）

- ①事業事前評価表(案)の作成に協力する。
- ②帰国報告会、国内打合せに出席し、担当分野に係る調査結果を報告する。
- ③担当分野に係る詳細計画策定調査報告書を作成する。

8. 成果品等

本契約における成果品は下記の通り。成果品は電子データを持って提出することとする。

- ・担当分野に係る詳細計画策定調査報告書（事業事前評価表案含む）（和文）：1部

9. 見積書作成に係る留意点

本公示の積算を行うにあたっては、「JICAコンサルタント等契約における見積書作成ガイドライン」

（<http://www.jica.go.jp/announce/manual/guideline/consultant/quotation.html>）を参照願います。留意点は以下のとおり。

（1）航空賃及び日当・宿泊料等

航空賃及び日当・宿泊料等は契約に含みませ（見積書に計上して下さい）。

航空経路は、日本（東京）-フランクフルト-ベオグラード-ティラナ-ベオグラード-フランクフルト-日本（東京）を標準とし、最も効率的、経済的な経路を選択してください。但し、昨今のトルコの空港爆破事件を受け、トルコ経由の航空経路は控えて下さい。

10. 特記事項

（1）業務日程／執務環境

①現地業務日程

本業務従事者の現地業務期間は2017年6月19日～7月9日を予定しています。本業務従事者は、JICAの調査団員より多少先行して現地調査を開始する予定です。なお、アルバニア政府との調整状況等により、派遣時期が後ろ倒しとなる可能性があります。

②現地での業務体制

本業務に係る調査団構成は、以下のとおりです。

- ア) 総括（JICA）
- イ) 生態系保全（JICA）
- ウ) 協力企画（JICA）
- エ) 評価分析（本コンサルタント）

③便宜供与内容

JICAバルカン事務所（在アルバニアのJICA在外専門調整員を含む）による便宜供与事項は以下のとおりです。

ア) 空港送迎

あり

イ) 宿舎手配

なし（予約は本業務従事者が直接行います。ただし、業務を円滑に実施するため、他団員と同一宿泊先としてください。他団員の宿泊先についてはJICAから情報を提供します）

ウ) 車両借上げ

全行程に対する移動車両の提供（JICA 職員等の調査期間については、職

員等と同乗することとなります。)

エ) 通訳備上

必要に応じ、英語⇄アルバニア語の通訳を提供

オ) 現地日程のアレンジ

基本的に JICA がアレンジします。なお、官団員到着後の関係機関へのアレンジについては、現地業務期間中に本業務従事者によるアポイント取り付けが必要となる場合があります。

カ) 執務スペースの提供

なし。宿泊先ホテルでの作業が中心となります。

(2) 参考資料

①公開資料

- ・ アルバニア国「ディヴィアカ・カラヴァスタ国立公園参加型管理による保全と持続的利用プロジェクト」詳細計画策定調査報告書
http://open_jicareport.jica.go.jp/pdf/12081931_01.pdf

②配布資料

本業務に関する以下の資料を JICA 地球環境部 森林・自然環境グループ 自然環境第二チーム (TEL:03-5226-9538、担当:佐々木) にて配布します。

- ・ 要請書 (写)
- ・ アルバニア国「ディヴィアカ・カラヴァスタ国立公園参加型管理による保全と持続的利用プロジェクト」終了時評価報告書 (小規模案件)
- ・ DKNP公園管理計画

(3) その他

- ①業務実施契約 (単独型) については、単独 (1名) の業務従事者の提案を求めている制度ですので、複数の業務従事者によるプロポーザルは無効とさせていただきます。
- ②現地業務期間中は安全管理に十分留意してください。現地の治安状況については、JICA バルカン事務所などにおいて十分な情報収集を行うとともに、現地業務の安全確保のための関係諸機関に対する協力依頼及び調整作業を十分に行うこととします。また、同事務所と常時連絡が取れる体制とし、特に地方にて活動を行う場合は、現地の治安状況、移動手段等について同事務所と緊密に連絡を取る様に留意することとします。また現地業務中における安全管理体制をプロポーザルに記載してください。加えて、安全管理を徹底すべく、本業務従事者は現地業務に先立ち外務省「たびレジ」に登録してください。
- ③本業務の実施にあたっては、「JICA不正腐敗防止ガイダンス (2014年10月)」 (<http://www2.jica.go.jp/ja/odainfo/pdf/guidance.pdf>) の趣旨を念頭に業務を行うこととします。なお、疑義事項が生じた場合は、不正腐敗情報相談窓口またはJICA担当者に速やかに相談してください。

以上